

株式会社 玖保忠



2023年度 環境経営レポート

取組期間 2023年6月1日 ～ 2024年5月31日

作成日:2024年 7月27日

改訂日:2024年 10月1日



□ ごあいさつ

現在、地球温暖化や石油資源の枯渇が言われています。私たちは、常日頃より循環型社会の一翼を担うため発生抑制に努め、中間処分による再利用再生利用、そして最終埋立処分量の削減をおこなうとともに、地域社会の環境保全活動に積極的に参加します。

環 境 経 営 方 針

<基本理念>

株式会社玖保忠は、健全な地球環境が人類共通の財産と認識し、廃棄物の収集運搬、中間処理に付帯する事業活動及びサービスを提供し、安全で健康な生活環境を確保するために、地域社会と手を携えて「循環型社会」の形成に貢献することを目指します。

<行動指針>

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。
2. 次の項目について環境目標および実施計画をたて、継続的に改善し、環境保全に努めます。
 - ① 二酸化炭素排出量削減
 - ② 電力の削減および燃料の削減と燃費の向上
 - ③ 総排水量の削減
 - ④ 受託廃棄物のリサイクル率の向上および最終処分量の削減
 - ⑤ 事務所からの一般廃棄物の削減
3. 環境保全への意識を高め、よき地域住民として、地域の環境保全活動に積極的に参加します。
4. この環境方針は、当社に働くすべてのものに周知し一般の方にも公開します。

制定日2012年6月 1日

改訂日2019年3月28日

株式会社 玖保忠

代表取締役社長 阪口 文章

□ 登録事業所の概要

(1) 事業者名及び代表者名 株式会社 玖保忠 代表取締役社長 阪口文章

(2) 所在地

本社及び中間処分場 〒640-8306 和歌山県和歌山市出島440番地19

倉庫(賃貸中) 〒640-8306 和歌山県和歌山市出島478番地11

(3) 責任者及び担当者連絡先 環境管理責任者: 木村 孝明 TEL: 073-473-4746

(4) 事業内容 (認証・登録の範囲)

産業廃棄物の収集運搬(積替え保管含む)及び中間処分、一般廃棄物の収集運搬

(5) 事業の規模 資本金: 300万円

売上高: 489百万円 (2024年5月期)

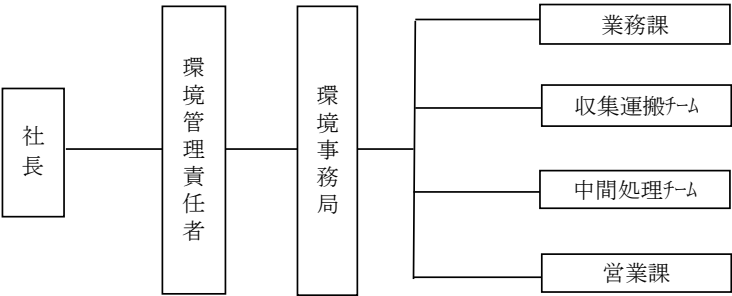
産廃収集運搬量: 3,843t (2024年5月期)

産廃中間処理量: 8,291 t (2024年5月期)

従業員: 27名 延べ床面積: 2,752㎡(本社及び倉庫)

(6) 法人設立年月日: 平成6年6月1日

(7) 実施体制組織図



	役割・責任・権限
社長	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施及び管理に必要な人、設備、費用、時間、技術者を用意 ・環境管理責任者を任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標の設定を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施
環境管理責任者	・環境経営システムを構築し、実施し、管理 ・法規制等の要求事項登録簿を承認 ・環境活動実施計画書を承認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告
環境事業課	・環境管理責任者、E A 2 1 推進会議の事務局 ・環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・「環境関連法規等チェックリスト」の作成 ・環境目標・環境活動実施計画書原案の作成 ・環境活動実施計画の実績集計 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口
部門長	・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境目標及び環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト・訓練・記録 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置
全従業員	・環境方針を理解と環境への取組の重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

(8) 許可の内容

中間処分	官公庁	許可番号	許可 年月日	許可 期限	廃 プラ	紙 くず	木 くず	織 維くず	金 属くず	ガラ スクず	が れき	ゴ ムくず	種 類 等
	和歌山市 (産廃) 優良	072 20 22891	令和 4.10.21	令和 11.10.20	○	○	○	○	○	○	○	○	破碎処理 8種類
	和歌山市 (一廃)	820 10017	令和 4.1.19	令和 8.2.1	○	○	○	○	○	○	○		破碎処理 7種類

収集運搬	行政区	許可番号	許可 年月日	許可 期限	動物 性残 渣	も えが ら ゴ ムく ず	廃 アル カリ	織 維く ず	木 くず	紙 くず	廃 プラ	金 属く ず が れき	汚 廃 泥 油	コ ン ク リ く ず	陶 磁 器 く ず	ガラ スク くず	種 類 等
	和歌山市 (産廃) 優良	072 10 22891	令和 3.9.2	令和 10.8.25	○		○		○ 積替え 保管有		○ 積替え 保管有	○ 積替え 保管有	○ 積替え 保管有	○ 積替え 保管有	○ 積替え 保管有	○ 積替え 保管有	14 種類
	和歌山県 (産廃) 優良	030 00 22891	令和 1.8.23	令和 8.8.22	○		○		○		○	○	○	○	○	○	14 種類
	大阪府 (産廃) 優良	027 00 22891	令和 1.9.12	令和 8.9.11	○				○		○	○	○	○	○	○	10 種類
	和歌山市 (一廃)	0820- 17	令和 4.8.4	令和 8.9.30													

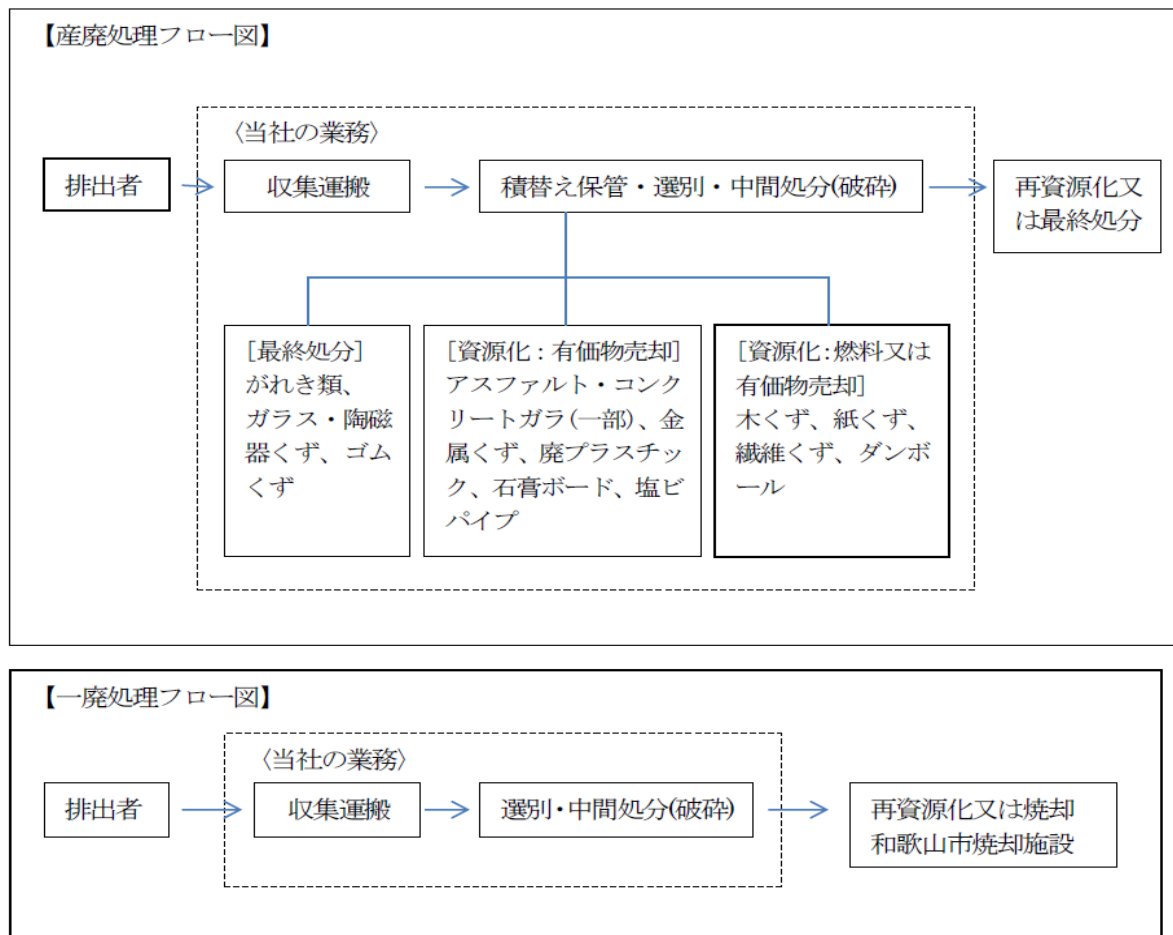
(積替え保管施設)

- ① 廃油 600ℓ (屋内保管、ドラム缶) ② 廃プラスチック類 8㎡ (コンテナ) ③ 紙くず 2㎡ (ボックス)
④ 木くず 8㎡ (コンテナ) ⑤ 繊維くず 2㎡ (ボックス) ⑥ ゴムくず 2㎡ (ボックス)
⑦ 金属くず 2㎡ (ボックス) ⑧ ガラスくず・及び陶磁器くず 8㎡ (コンテナ)
⑨ がれき類 17㎡ (屋内保管) ⑩ 混合廃棄物 141.79㎡ (屋内保管)
⑪ 水銀使用製品 400ℓ (ドラム缶) / 0.52㎡ (屋内保管) ⑫ 燃え殻 12㎡ (屋内保管、コンテナ)
⑬ 石綿含有物 24㎡ (屋内保管、コンテナ) ⑭ 特定家庭用機器産業廃棄物 14.30㎡ (屋内保管、パレット)

(9) 施設等の状況

- ☐ 収集運搬
- ・収集運搬車両：コンテナ専用車 7台 ユニック車 2台、塵芥車 2台 軽貨物車1台
 - ・積替え保管の床面積：2592.00㎡
- ☐ 中間処分
- ・施設の種類：破碎施設 (株)新居浜鉄工所 NS-111FD 処理能力4.88 t / 日
 - ・処理する産業廃棄物の種類：下記8品目の許可を取得しています。
① 廃プラスチック類3.40t/日、 ② 紙屑4.65t/日、 ③ 木屑 2.76t/日
④ 繊維屑 3.5t/日、 ⑤ ゴム屑 3.6t/日、 ⑥ 金属屑 3.40t/日
⑦ コンクリート屑及び陶磁器屑 4.88t/日
⑧ 工作物の除去に伴い生じた不要物 3.39t/日
 - ・処理方式： 破碎処理

□処理工程フロー図



(10) 廃棄物処理料金

- ・処理料金につきましては種類と量により計算いたします。
当社事務部（TEL:073-473-4746）にてお見積もりいたします。

(11) 2008年5月3日より電子マニフェストにて対応しています。（収集運搬及び処分とも）

(12) 計量証明事業 和歌山県第112号 取得

□ 主な環境負荷の実績

年 度	単 位	2019	2020	2021	2022	2023
二酸化炭素排出量	kg・CO2	163,291	192,849	191,797	276,492	268,378
廃棄物排出量計	kg	22	44	44	33	30
一般廃棄物	kg	22	44	44	33	30
産業廃棄物	kg	0	0	0	0	0
受託産廃収集運搬量	t	9,090	7,911	4,568	4,056	3,843
受託産廃中間処理量	t	13,703	11,431	8,249	8,530	8,291
中間処理後 産廃最終処分量	t	12,384	10,036	6,625	6,775	5,957
水使用量	m3	692	939	1,413	511	545

※二酸化炭素排出係数：0.318kg-CO2/k w h 2019年度 関西電力 調整後排出係数

□ 環境目標と実績

2022年5月に新工場に移転して1年が経過し前年度に目標も新たになりガソリン・水道量は達成出来なかったが概ね達成出来ている。ガソリンの未達は営業車が1台増えたことによるものと思われる。水道料の未達は粉塵防止や他社様への供給によるものと思われる。来年度は他社様への供給はなくなるので多少は減少するだろう。社員への意識啓発を引継ぎ行う。

年度		2022年度 23年5月期	2023年度 24年5月期	2023年度 24年5月期	2024年度 25年5月期	2025年度 26年5月期
項目		基準値	目標	実績	目標※2	目標※2
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	276,492	273,792	268,378 達成	271,092	268,392
電力使用量の削減	kWh	155,181	153,629	151,709 達成	152,077	150,526
ガソリン使用量の削減	L	3,209	3,177	4,958 未達	3,145	3,113
軽油使用量の削減		85,154	84,302	80,865 達成	83,451	82,599
一般廃棄物の削減	kg	33	32.7	30 達成	32.3	32
産廃リサイクル量の向上	t	2734	2,761	3,353 達成	2,788	2,815
産廃リサイクル率	%	29	29	36 達成	29	29
産廃最終処分量の削減	t	6,775	6,707	5,957 達成	6,620	6,572
水使用量の削減	m³	511	506	545 未達	501	496
グリーン購入 項目目標（トラック用品、作業用具、文房具）	品目数	3	維持 3	3	3	3

※ 二酸化炭素排出係数：0.318kg-CO2/kWh 2019年度 関西電力 調整後排出係数
※ 産廃リサイクル率：リサイクル量(t)/(最終処分量(t)+リサイクル量(t))×100

- 次のことにも取り組みます。
- ① 事務用品のグリーン購入を積極的に進め、エコ商品に切り替える。
 - ② 地域の環境保全活動に積極的に参加する。
 - ・2ヶ月1回は会社周辺清掃を実施する
 - ・1年に2回は県下等地域の清掃活動に参加する

□ 2023年度の環境目標・活動計画と評価、次年度の取組

当年度の活動計画、達成状況、結果と今後の方向を報告します。

取 組 み 項 目	達 成 状 況	評価、結果と今後の方向
<u>二酸化炭素排出量の削減</u> 電力・燃料使用量の削減策 ※二酸化炭素排出係数： 0.318kg-CO2/kWh	目標：273,792 kg-CO2 実績：268,378kg-CO2 率：102.0% 達成	2022年5月に新工場に移転してから、1年が経過し、昨年の実績から新工場での現況に即した目標値を設定することができ、1回/月の運営会議での意見交換等でうまくPDCAを回せたことが成果につながったと考える。次年度も引き続き削減を推進する。
<u>電力使用量の削減</u> ・省エネ目標説明 ・昼休みの消灯 ・クールビズ・ウォームビズ運動 ・冷房28度 暖房20度 ・高圧放水の節約（電力使用）	目標：153,629 kWh 実績：151,709 kWh 率：101.3 % 達成	電力削減においては、ほぼ目標とおりに推移し、計画を達成できたことはいい傾向である。社員の電力削減意識も高まり、良い傾向であると考え。引き続き削減を推進する。
<u>ガソリン使用量の削減</u> ・アイドリングストップ運動の推進 ・急発進の防止運動の推進 ・余計な荷物を降ろす。	目標：3,177 L 実績：4,958 L 率：64.1% 未達成	ガソリンの使用量については、社員増員で社用車の通勤使用・大阪府方面への営業活動などで使用量増となったため、目標値の見直しを検討する。引き続き削減を推進する。
<u>軽油使用量の削減</u> ・アイドリングストップ運動の推進 ・急発進の防止運動の推進	目標：84,302L 実績：80,865L 率：104.3% 達成	経由の使用量は、計画を順調に削減が出来ていることが良かった。アイドリングストップの励行により社員の削減に対する意識が高まったと考える。引き続き削減を推進する。
<u>一般廃棄物の削減</u> ・紙類の分別の徹底 ・水筒持参 ・両面コピーの推進 ・マイ弁当持参	目標：32.7kg 実績：30kg 率：109% 達成	昨年から引き続き、自社での一般廃棄物削減の意識付け、分別徹底により全体的な数量は減少できた。また、電子での書類保存化も少しづつ始めている。引き続き削減を推進する。
<u>産廃リサイクル率の向上</u> ・分別リサイクルの徹底	目標：29% 実績：36% 率：124.1% 達成	グループ会社との協力で選別作業の指南にて効率アップを図った。その効果があったと考える。但し、定期的に作業方法の見直し及び確認のPDCAを廻していくようにすることが必要と考える。引き続き推進する。
<u>産廃最終処分量の削減</u> ・分別リサイクル化の徹底	目標：6,707t 実績：5,957t 率：112.6% 達成	選別の精度が上がってきていることもあり、最終処分場への搬出量が減少傾向にある。選別精度は、年々少しずつ向上していけるよう指示・指導していきたい。引き続き削減を推進する。
<u>水使用量の削減</u> ・合併浄化槽を設置 ・節水呼びかけ ・節水弁取り付け	目標：506m ³ 実績：545m ³ 率：92.8% 未達成	スポット的な水道水の他社様への供給や夏場の搬出時の廃棄物の湿潤化の為に散水したことで数量が増える要因となった。KPIにて確認管理していくことと、周知することで削減に努めていく。廃棄物の湿潤化については、雨水利用率を上げて方法と費用対効果も含めて検討し、実施に向けて進めていきたい。引き続き削減を推進する。
<u>事務用品のグリーン購入を積極的に進め、エコ商品に切替え。</u> ・コピー用紙のリサイクル品	目標：3品目 実績：3品目 率：100% 達成 （基準年比：100%）	ペーパー類は、再生紙の利用を継続している。物価上昇も相まってグリーン購入対策品に関しては、価格が効果であるため、進められていない。目標の見直しも視野に検討が必要。引き続き推進する。
<u>地域の環境保全活動への積極的参加</u> ・週1回会社周辺清掃を実施する ・年2回社外地域の清掃活動にする	全員参加による実施 ・工場周辺毎日 ・社外地域年2回 ・工場出入口の清掃 ・毎朝ラジオ体操後実行	毎日の会社敷地内の清掃活動、年1回の社外地域の清掃活動に参加することにより、会社のイメージアップとが図れている。敷地外の草刈り・清掃等を行った。

備考

※今後の車両入れ替えにおいては環境に配慮した車両を購入時の前提条件とする

※削減達成率(%)＝目標値/実績×100

□ 地域奉仕活動への参加

1. 第25回クリーンアップキャンペーン
令和5年6月25日(日)
一般社団法人 和歌山県産業資源循環協会



□ 環境関連法規制等の順守状況

主な環境関連法規制等は次の通りです。

法規名	該当する施設等の項目	順守評価
廃棄物処理法	マニフェスト伝票の確認と保管（帳簿の記載状況と保管）、収集運搬業の許可、契約書、収集・運搬基準（表示・書面の携行）、保管基準（60cm×60cm以上の表示）保管状況（飛散、浸透防止、衛生管理、最大保管量）、マニフェスト発行状況等の定期報告	○
消防法	消火器設置 火災報知器設置	○
自動車NOx・PM法	キャブオーバー・ダンプ・コンテナ専用車	○
オフロード法	バックフォー・ショベルローダ等の定期的な自主点検	○
家電リサイクル法	家電4品目の廃棄時の適正処理（排出・持込事業者への徹底）	○
自動車リサイクル法	使用済み自動車の引取り業者への引渡し	○
フロン排出抑制法	フロン使用空調機等の適正処理及び簡易点検等	○
騒音規制法	破碎機、油圧プレス、ふるい機、送風機	○
振動規制法	破碎機、油圧プレス、ふるい機	○
和歌山県公害防止条例	破碎機	○
大気汚染防止法	ベルトコンベア、ふるい	○
(社)和歌山県産業資源循環協会	クリーンアップ作戦、地域奉仕活動、収集運搬車に県警のマスコット「きしゅう君」のステッカーの貼付け、和歌山市内の不法投棄パトロール作戦実施	○

環境関連法規制等について順守状況の定期評価の結果、上記法律及び条例について、逸脱はありませんでした。また、過去5ヵ年にわたって違反や訴訟はありません。

□ 代表者による全体の評価と見直し・指示(2024年6月6日実施)

エコアクション21の活動結果から、社員の意識付け及び無駄の削減の成果がみられると評価しており、また、当社の環境への取り組みについて数値化し把握できるようになったことは成果の一つである。

今年度より、目標数値が工場移転後の数値となったことから、ガソリン使用量、水使用量を除いて達成となっている。ガソリン使用量の未達については、大阪地区営業担当の採用、活動活発化によるものであると理解はするが、今後も引き続き、効率的な業務行動を心がけ、また、目標数値と実績数値の差異を月次で確認、差異検証することを徹底してもらいたい。

従来の大量消費・大量廃棄から脱却し資源循環型の社会に変革する過程において、地球への廃棄物排出を強い意志をもって抑制し、持続可能な社会を実現するために、埋立廃棄物の排出をゼロとすることに貢献することが社会インフラを支える当社の使命であることから、エコアクション21への取組は使命を遂行する上で不可欠であると認識する。

よって、設定した環境目標を意識しながら持ち込まれた混合廃棄物を徹底的に分別・選別・処理し、再生可能資源として提供できる体制に進化すると同時に、高齢化社会に対応した一般廃棄物処理にも注力し、加えて「和歌山市内の地域で不法投棄巡回パトロール」（(社)和歌山県産業資源循環協会 主催）などへは引き続き積極的に参加し社会貢献したいと考えている。

今後とも社会の動向をとらえ、地道に環境経営活動を継続して行く方針である。

- 環境経営方針 ☒変更なし ☐変更あり
- 環境目標 ☐変更なし ☒変更あり：2023年度実績を元に取組の目標数値を再度設定検討する。
- 実施体制 ☒変更なし ☐変更あり

以上